

<p>石 鎚 本 教 秋 季 例 大 祭 ご 案 内</p>		<p>発 行 所 〒793 - 8555 愛媛県西条市西田甲797番地 石鎚神社・石鎚本教 電話 (0897) 55 - 4044</p>
	<p>9・10月号</p>	



「素晴らしき朝」スタジオ旅路 渡邊 佑 氏 撮影

道

私事でございますが、畏友が一人、世を去りました。

ひとり才覚を以て飲食を起業、奥様と共に約四十年を働き抜きました。人様のお世話の好きな好漢でした。昨春に病を得て、爾来、いま何をすべきか、家族と商売をどうするか、に全力を傾注していました。

日々石鎚本社へ参拝し御神木を拝し、常に笑顔で予後を語り、家族と商売の未来を語りつつ、店舗の契約を更新し墓所を整え、そして、静かに去って行きました。

「ご縁を大切に繋げてきた事が自分の生きた証、宝物。ありがとうございます」と、全ての方々に感謝しています。」

愚痴を言わず、人を責めず、常に未来を語り続けた彼のこの一年間の常の言葉に、命を絞って伝えてくれたその心に、ただ感謝しています。

私たちは家族、職場、友人、地域、様々なご縁の輪を持っています。一人でも多くのひとのご縁を持つ人生でありたい、と願うものです。武智。

令和四年 石鎚本教 秋季例大祭 祭典案内

十月四日(火)

午前九時三十分〜

- ・石鎚本教教会联合会 総会
 - ・土小屋遙拝殿御鎮座五十周年奉賛会理事会
- 午後五時 秋季例大祭 前夜祭

十月五日(水)

午前十時 秋季例大祭

正午頃 神輿渡御

※社務所前到着後、餅投げ

午後一時頃 御旅所祭 (石鎚山駅前)

※石鎚敬神婦人会 踊り奉納

※西田獅子舞保存会 獅子舞奉納

本殿著御後 御神像拝戴

※拝戴後、本殿前にて餅投げ・福木投げ

※奉納神賑行事 (境内にて)

演芸大会



◀総代祈願詞



◀宮司挨拶



◀浦安の舞



◀宮司玉串拝礼

十月六日(木)

午前十時

祖霊殿 秋季例大祭・合祀祭

祖霊殿にて秋季例大祭を齋行し、並びに春季例大祭以降に届出のありました物故者を新祭神として合わせ祀る合祀祭を行います。

過去三年間に合祀されました遺族の方へご案内申し上げます。ご参拝をお願いいたします。



十月七日(金)

午前九時

秋季例大祭 後宮祭

四日・五日は石鎚神社会館

宿泊無料(定員七十五名)

- 神社会館の宿泊は無料(先着七十五名)です。但し法令に基づく名簿保管の為、事前に申込下さい。申込が無い場合は宿泊ができない場合があります。
- 食事時のアルコール提供は控えさせていただきます。
- 世情により、変更する場合がございます。

神社会館 ○八九七―五五―四一六八

担当 山本

◎お知らせ◎

秋のご大祭

子供みこし 小六までの男の子

お稚児さん 小六までの女の子

十月五日(水曜日) 大募集!!

来る十月五日の秋季例大祭にて、こども神輿のご奉仕、お稚児さんのご奉仕を募集します。皆様のお子様、お孫様のご奉仕を是非お願いします。(保護者同伴・雨天中止)

子供みこし

対象

- ◇小学生の男の子。服装自由。
- ◇集合日時・場所
- ◇十月五日午前十時より
- ◇西条市西田 西田自治会館

(石鎚神社本社前、石の鳥居横)にて受付開始。
ハッピをお貸しします。

◇正午前後、御本殿より出発。
奉仕内容

◇石鎚神社の神輿に続き、こども神輿の渡御運行をお願いします。

◇担当 西田自治会・敬婦橘支部

お稚児さん

対象

- ◇四才より小六までの女の子。
- ◇集合日時・場所
- ◇十月五日午前十時より
- ◇西条市西田 西田自治会館

(石鎚神社本社前、石の鳥居横)にて受付開始。

◇正午社務所前より出発。
奉仕内容

◇自治会館にて着替え、石鎚神社の神輿の渡御運行のお供をお願いします。

◇担当 石鎚敬神婦人会、橘支部
お願い

◇白靴下、白ブラウスをご用意下さい。

◇服装に限りがありますので、先着順にてお許し下さい。

◇事前の受付は出来ません。
◇私服で行列へ参加して頂いても結構です。

八大龍王社例大祭齋行

令和四年八月八日

去る八月八日午前十一時より、石鎚神社中宮成就社境内に御鎮座されます八大龍王社に於きまして、例大祭並びにお火焚き祈願祭が齋行されました。

今年もマスク着用をお願いする中での齋行となりました。



降り出した小雨もすぐに止み、天候に恵まれる中、武智宮司が例大祭を言祝ぐ祝詞を奏上、ご参列頂きました方々に、大神様のご守護に感謝申し上げます。

お火焚き祈願祭では十亀権宮司により、三六本の祈願木に書かれた皆様の祈願を一本一本読み上げ、願い成就しますよう焼き納め、武智宮司の先導で大祓詞斉唱・般若心経誦しご祈念申し上げます。



神事終了時には当日のみの八大龍王神札を、お一人お一人にお渡し致しました。御神符は、神棚にお祀りされるか、身近な所に御守りとしてお持ちいただき、八大龍王神様のご加護を受けていただければ幸いです。

今年も信徒様より、手作りのポケットティッシュケースをお供えいただき、参列者全員にお渡し致しました。又、卵の奉納もいただきました。誠にありがとうございます。

感染症は収まる心配が無いほどの勢いで拡大しております。信徒の皆様のご健康を祈ると共に、来年こそはいつもの祭典が齋行できますことを願い、ご報告とさせていただきます。

記 出仕 鴨頭洗介

預かり賽銭のお願い

「預かり賽銭」とは

石鎚神社・石鎚本教で行われる、下記の二つの大祭に於て、期間中にご参拝出来ない信徒の皆様が、ご代表様、お世話人様に代理参拝をお願いし、皆様方のお賽銭をご奉納頂く事です。

この「ご奉納」を通じて、より多く皆様方に、大神様のご神徳を拝受して頂きたく存じます。

各教会・遙拝所・講社のご代表様は、御神徳発揚の為、一人でも多くの信徒皆様方へ、ご協力をお伝えして頂きたく存じます。

また、各教会・遙拝所・講社に所属の皆様方は、ご代表様、お世話人様にお尋ね下さい。お世話人様をご不明な方は、本社へご連絡をお願いします。

春季例大祭

毎年四月四日～七日

(例大祭は五日)

夏山開き大祭

毎年七月一日～十日

秋季例大祭

毎年十月四日～七日

(例大祭は五日)

◎お供え頂いた「預かり賽銭」の初穂料により、大祭毎に定められた御神札をお世話人様へお預け致します。後ほどお受け取りお祀りくださいませ。

※預かり賽銭の帳面は、大祭の約二ヶ月前までにはお届けいたします。

お問い合わせ

愛媛県西条市西田甲七九七

石鎚神社・石鎚本教

TEL 〇八九七―五五―四〇四四

FAX 〇八九七―五五―七二四二

石鎚本教所属 宗教法人格取得教会の皆様へ

宗教法人格を取得されております教会の事務担当の皆様へお知らせ致します。

所属教会の会計年度終了は毎年六月末となっております。為に本社への所轄庁提出書類提出が十月十五日までとなっております。(会計年度終了後四ヶ月以内に所轄庁へ提出)。

まだ、本社へ提出していない教会がありましたら、お早めに記入・捺印していただきまして送付ください。本社にて取りまとめ、各所轄庁へ転送いたします。

この件に関しまして、ご不明な点がございましたら、**本社・祢宜曾我部**までご連絡ください。よろしくお願い致します。



講習会 第二日目 記念撮影

第七十二回 (令和四年八月二十六日～二十八日開催)
石鎚本教所属教師講習会 開催!

コロナ禍の世情の中、講習会に定員をもうけ第七十二回石鎚本教所属教師講習会が、全国より三十五名の参加を頂き、八月二十六日から二泊三日の日程にて開催されました。



開講式 武智宮司・管長挨拶

この疫病により令和二年・令和三年とやむを得ず二年連続の中止となりましたが、今般晴れて第七十二回を実施するに至りました。また皆様方をお迎えするにあたり、出来る限りの対策を講じさせて頂きました。開講式では、武智正人宮司・管長より三年ぶりの講習会実施を大変感慨深く語られ、平岡 明常務総代より「講習生へ、温かい応援の一言葉」を頂きました。第一日目は基礎作法の鍛錬、

第二日目は祭式行事作法の円熟につとめ、最終日第三日目は、講習会の習熟度を見させていただく為、講習生を十八名と十七名に分け、全員に祭典の所役を割り当て、総勢三十五名の祭員による、大祭式の終了奉告祭を齎行させて頂きました。



平岡 明常務総代挨拶

また第二日目・三日目の早朝より講習生各自にて、禊行をして頂きました。今回は密を避ける為、鳥舟作法は任意とし、講習会に先立ち身を浄め、罪穢れに感うことなく専念出来ることを願い、身を清めて頂きました。祓詞に有りますように「記紀」によれば、イザナギノミコトは、「わたしは、とても

また本年の講習会では、基礎作法と行事作法を中心にひたすらに反復練習に励み、祭儀の重要な所役である祓主・



初日 本殿開講奉告祭

※衝立船戸神、道之長乳齒神、時量師神、和豆良比能宇斯神、道俣神、飽咋之宇斯神、奥疎神、奥津那芸佐毘古神、奥津甲斐弁羅神、辺疎神、辺津那芸佐毘古神、辺津甲斐弁羅神

汚く穢れた醜い国へ行つてしまつたので、禊をしなければならぬ。」とおっしゃって、橋の小戸の阿波岐原にお出ましになり、禊をなさいました。その時に、身につけていたもの(杖・帯・袋・衣服・袴・冠・腕輪)を投げ捨てする時に十二柱の神々が出現しました。十二柱の神々とは、

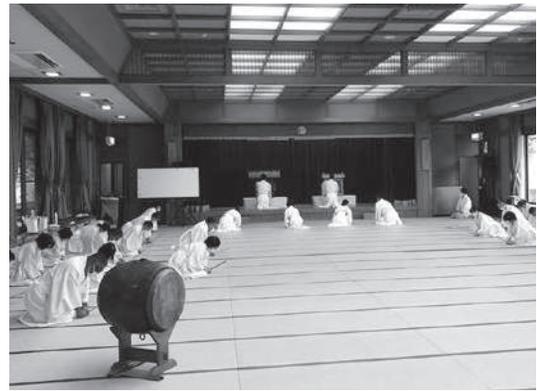


講習会の様子

大麻所役・塩湯所役の解釈と説明、併せて実践に努めました。本講習会におきましては、祭式行事作法の習熟に努めつつ、常日頃ご奉仕する教会・遙拝所・講社等の月次祭また祭典に活かす事を念頭に置き、各個々の教師としての心得を再確認する講習でもありと考えております。

来年の講習会は、第七十三回を迎えます。これまでに石鎚本教所属教師を全国各地に約千六百名以上輩出させて頂きました。これも単に、石鎚大神様のお導きでありご威光

講習会最終日は、本殿にて朝拝神事の後、直ぐに神社会館三階へ移動し、習礼・配列確認を約二時間かけて行い、本講習会の総仕上げである終了奉告祭齋行致しました。ご尽力を頂きました皆様方への場をお借りし厚く御礼申し上げます。



終了奉告祭 開扉



終了奉告祭 齋主 祝詞奏上

の賜物であると確信しております。これからも信徒の皆様方の中より、全国の教会、遙拝所、講社等で石鎚大神様の御教えをお伝え頂ける教師の方々が輩出されますことを切にお願ひ申し上げます。記 権禰宜 山崎

葉山教会七十周年奉祝大祭

齋行

石鎚神社 常務総代

功労章銀笏 元老大顧問

石鎚本教師 権中教正

岡村 信一 教会長



朝、夕に秋の気配が近づきつつあるのを感じる八月三十日、高知県津野町久保川に鎮座致します葉山教会にて創立七十周年奉祝大祭が斎行されました。本社より武智宮司管長、平岡常務、湊常務、曾我部洋輔権禰宜が出席し、教会長・信徒の方々の晴々とした笑顔に迎えられ、高知崇敬組合長、大阪教会長をはじめ約五十名の信徒が参列されました。

暑い時季ですが、感染症対策の為、クーラーをかけながら窓を開けての祭典となりました。



まず十一時より御神像を教会から教会の裏にある御山の神座に遷し、頂上祭を斎行。御神像を教会へ還御の後十三時から奉祝大祭が斎行されました。



開式太鼓の音により教会内が凜とした空気に包まれ、祭主岡村教会長、武智宮司管長が七十周年の神恩に感謝を申し上げる祝詞を奏上、大阪教会所属島本貴代氏による東都獅子(あずまじし)の舞の奉納、



参列頂いた全員に玉串を渡し、誠心を捧げる玉串札拝が行われた後、祖霊社に宮司管長が祭詞を奏上、宮司管長、教会長、参列者代表が玉串を奉り祭典は滞りなく終了。長年教会に誠心誠意ご奉仕された教会長をはじめ信徒五名に感謝状贈呈、教会長に功労章銀笏が贈呈されました。



祭典後、御神像拝戴神事が行われ、教会内にて餅投げを行い、その後直会を執り行いました。



今後、岡村会長を扇の要とし教会の益々のご発展と、教会長を始め役員・信徒皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ報告と致します。



直会の途中、祭典でも舞を奉納して頂きました島本貴代氏が七福神の舞を奉納、華を添えて頂き和やかな奉祝大祭となりました。

感謝状、先達の辞令をお渡しさせて頂きました方々のお名前を掲載させて頂きます。

【感謝状】

- 岡村 信一
- 岡村 明男
- 坂本 亀子
- 中山 礼子
- 中山 壽恵子
- 田村 和稔

【先達辞令】

- 功労章銀笏 岡村 信一

記 権禰宜 曾我部洋輔

順不同敬称略



石鎚本教伊予教会
代表役員住所・氏変更

※鎮座地 愛媛県伊予市
※代表委員・教会長

大森 真由美

← 肥田 真由美

※代表役員住所

〒 七九一―二二〇四

愛媛県伊予郡砥部町高市

一六三一番地高市団地六号

右、令和四年八月十七日付、
変更登録。

宇和教会責任役員変更

※鎮座地 愛媛県西予市
※当該教会 宇和教会

※新任責任役員名

原井川 敬三
山内 福美

※任期は、前責任役員の残任
期間。

※令和四年十月一日付管長辞
令発令。 以上

石鎚本教大島教会
責任役員変更

※鎮座地 山口県大島郡

※新任責任役員名

和田 久美子

右、令和四年八月十一日付、
管長辞令発令、任期は前責任
役員の残任期間。



霊峰石鎚山 三十六王子社巡拝行 納め札奉納

巡拝参加者募集

全行程徒歩にて巡拝可能な方、
定員六十名を予定!

(日程) 十月二十四日(月)〜
二十七日(木)

役行者によって開山されて以来、
代々の修験者の足跡を直に踏み訪ねて参詣、そして祈りを捧げる三十六王子社巡拝行。

自然の中に身を投じながら神を感じ、自己を見つめ直す事こそ巡拝行の大きな目的です。

本年も三泊四日の行程にて行い、例年通り全行程徒歩にて巡拝可能な方のご同行をお願い致します。ご参加戴けます方は、その点をご理解いただきますようお願い致します。

◎巡拝参加希望者

参加者は祈願納め札を二組以上のお世話をお願いします。
尚、定員(二十名)となり次第締め切らせて頂きますのでご了承ください。

参加申込締切

九月三十日(定員二十名)

巡拝参加費用

お一人 三万五千元

持参品

防寒着・懐中電灯・雨具・簡易アイゼン*

・洗面具・着替え・その他登山装備・各自薬など

*簡易アイゼンは本社にて頒布しております。お問い合わせください。

本社集合

二十四日午前七時

(前日宿泊無料)

本社解散予定

二十七日午後六時

◎納め札奉納について

巡拝時に各王子社にて、祈願内容・住所・氏名・年齢を読み上げ、奉納して戴きます。

まずお申し込み戴き、必要冊数の納め札をお送り致します。皆様の手でお書き込み戴きましてご返送して下さい。お申し込みはお早めに。

納め札奉納初穂料

一体(三十六枚) 五千元

それぞれの祈願内容、氏名等を祈願主本人がご記入下さい。納め札本社提出締切

十月十日

巡拝終了後に三十六王子社のお守りを授与致します。

※巡拝・納め札のお申し込みは各崇敬組合長・教会長・遥拝所長に お申し込み下さい。(尚、ご不明な点は本社山崎迄お問い合わせ下さい。)

土小屋遙拝殿

もみじ祭り

日程

十月二十三日(日) (昭和四十六年、御神像奉斎日)

午前十一時より

大祭式祭典 御神像拝戴神事

神賑行事

※祭典後

お餅配り (御神像拝戴後)



多数の方々の御参拝をお待ちしております

土小屋遙拝殿 TEL 0897-53-0008



中宮 成就社

もみじ祭り

期間

十月二日(日)より十一月三日(祝)までの日曜・祝日、全て

祭典

十月二日十時より斎行

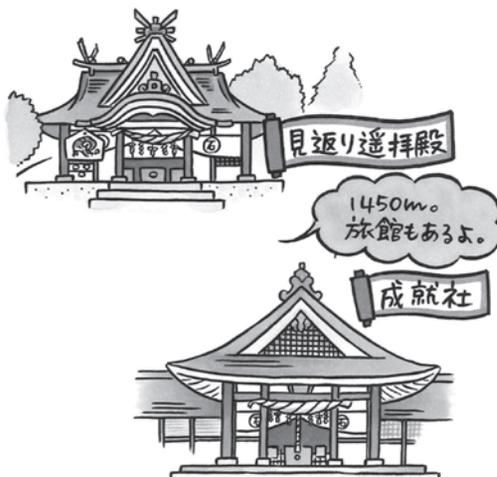
神賑行事

錦秋の成就社へご家族でご参拝下さい。

※コロナ禍の為神賑行事は休止します。

皆様の参拝を心よりお待ちしております

中宮成就社 TEL 0897-59-0106



石鎚神社 中宮 土小屋遙拝殿 御鎮座五十周年奉祝 改修工事 ご奉賛のお願い

土小屋遙拝殿は、長年の風雨雪により、御屋根銅板と社殿木部の痛みが進み、二十年来の雨漏りも一段と激しくなり、重ねてきた補修も、もはや限界となりました。現在改修工事を行っております。どうかご理解とご協力をお願い申し上げます。

ご奉賛のお問い合わせは、崇敬組合・教会・遙拝所・講社の方々は所属の長の方へ。所属のない方は、本社へ直接お声がけください。

奉祝奉賛会 役員一同

土小屋遙拝殿 御鎮座五十周年の歴史

- ・昭和四十五年 石鎚スカイライン開通
- ・昭和四十六年 土小屋遙拝殿へ御神像遷座
同 土小屋遙拝殿建立奉告祭齋行
- ・昭和六十二年 土小屋遙拝殿
改築工事奉賛会発足
- ・平成元年 土小屋遙拝殿建立奉告祭齋行
- ・令和三年 土小屋遙拝殿御鎮座五十周年

銅板御屋根の葺き替え

現在の御屋根は三十年来の風雨雪により、傷みが激しく雨漏りをしています。このままでは御社殿自体の損傷が進むと考えられます。

新たに銅板にて御屋根を葺き替え、石鎚大神様が御鎮座されるにふさわしい御社殿になる様、計画致しました。

木部外壁部の張替防水対策工事

御本殿外壁の木部は、長年の風雨雪や直射日光により木が割れ、横からの漏水が激しくなりました。

石鎚大神様の御鎮座される御社殿としてふさわしい、木部外壁の張替工事、防水対策工事も計画致しました。

周辺整備

御本殿のコンクリートの外回廊も前回の防水工事より年数を経て機能が低下してきました。

正面階段中央のモミの木が成長し、石畳が浮き上がり参拝者が躓く事も予想されます。

これらの維持管理の為、外回廊の防水工事、石畳の一部改修また殿内の畳の取り替え等を計画致しました。

令和四年八月末日現況写真



ご奉賛頂きました皆様へは、下記の対応をさせていただきます。

奉賛金額	ご芳名	銅板記名	御神札	記念品	感謝状	掲額	ご案内
2,000円未満	○						
2,000円以上	○	○					
1万円以上	○	○	○				
5万円以上	○	○	○	○			
10万円以上	○	○	○	○	○	○	○
20万円以上	○	○	○	○	○	○	○
30万円以上	○	○	○	○	○	○	○
50万円以上	○	○	○	○	○	○	○
100万円以上	○	○	○	○	○	○	○

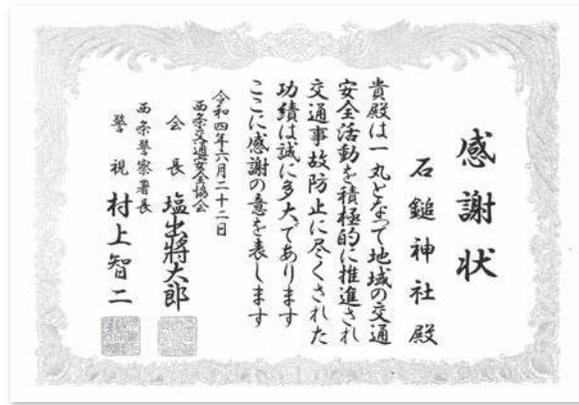
- ◎ご芳名 全てのご奉賛者のご芳名を、土小屋遙拝殿に永久保存
- ◎銅板記名 銅板へお名前を記名
- ※銅板記名対応は、御屋根葺き替え完成直前までとさせていただきます。
- ※下記は、工事完成後に対応させていただきます
- ◎御神札 本奉賛会にて特別に奉製された御神札
- ◎記念品 本奉賛会、記念品
- ◎感謝状 本奉賛会、感謝状
- ◎掲額 土小屋遙拝殿内に、ご芳名を掲額
- ◎ご案内 奉祝大祭のご案内
- ◎銅板奉納 ※1口・2,000円～。
・本社、土小屋遙拝殿社頭にて
・お名前の記入は1名とさせていただきます。
・受付は、お世話人様を通じて。

御屋根	銅板の葺き替え	外部壁	木材の張り替え・防水対策	周辺整備	奉祝大祭・奉祝式典・芳名掲額・予備費	予算 総合計
	五二、〇〇〇、〇〇〇円		一八、〇〇〇、〇〇〇円		一〇、〇〇〇、〇〇〇円	八五、〇〇〇、〇〇〇円

改修工事 予算

真心からのご奉賛を、誠に有難く、深く御礼を申し上げます。今後、ご奉賛活動に深いご理解とご協力をくださいます様、心からお願ひ申し上げます。
宮司 敬白

御 報 告



右、感謝状を拝受致しました。有難く、謹んでご報告致します。

宮司敬白。

川 柳

大分県臼杵市

北山 為友 翁 一〇一才

敬虔なる石鎚信徒であり、現在も創作意欲を燃やされている、北山為友翁の一〇一歳記念誌より掲載しました。活力を戴きました。皆さま、ぜひご高覧ください。文責、武智

ねんりんピック

響く 奨励賞(男性最高齢者) 税改正 老いの暮しに 響く日々

笑う 奨励賞(男性最高齢者) 乳飲み児は 何を夢見る まどろ笑み

競う 奨励賞(男性最高齢者) 年老いて 競う心が 事故おこす

家族 奨励賞(男性最高齢者) 質素だが 笑いの絶えぬ いい我が家

朝 奨励賞(男性最高齢者) 良い目覚め 今日も元氣と 背のびする

屋根 奨励賞(男性最高齢者) 夏の一夜 友と楽しい 屋形船

仕事 奨励賞(男性最高齢者) 耐え忍び やって良かった この仕事

花 奨励賞(男性最高齢者) 花嫁で 喜びに湧く 過疎の村

水 アフガンに 生涯かけた 勇医さん

大分県短文学大会

平和 優秀賞 七〇年 まだ赤紙が 夢に出る

大分合同新聞掲載 読者文芸川柳「北山句集」より

お 知 ら せ

石鎚立螺法講習会のご案内

霊峰石鎚山へ奉納する、法螺の吹鳴を学ぶ「石鎚立螺法講習会」を左記日程にて開催いたします。

日程 十一月二日

場所 石鎚社会館

参加費 五千円(昼食含)

締切り 十月二十日

※階位認定試験はございます ※法螺奉納大会は休止します

講習会申込用紙送付先 お問合せ先(代表幹事)

〒七九三一〇二二一

愛媛県西条市大保木四号

極楽寺 石鎚立螺之会

TEL〇八九七―五九一〇〇一一 FAX〇八九七―五九一〇四四四

参加申込用紙は、石鎚神社までご請求ください。事前のお申込みがない場合は、参加出来ません。

お電話でのお申込みは受付出来ませんので、ご了承ください。

頂上社護持奉賛会
寄付者 芳名簿

令和四年六月一日から
令和四年八月末日まで

※五万円以上奉納者

(順不同・敬称略)

◆安芸崇敬組合◆
壹拾万円以上

西中 圓勝
西中力ホ子

◆高知崇敬組合◆
壹拾五万円

佐川教会

◆中予崇敬組合◆
壹拾万円以上

永井健太郎

◆その他◆
参拾万円以上

某氏

真心のご浄財を賜りました
皆様には、ご奉賛心より厚く
お礼を申し上げます。
尚、奉賛会は今後も継続し
ておりますので、ご協力をお
願いいたします。

担当 大岡・岩本

おかげ話 昭和五十五年七月一日発行 (石鎚敬神婦人会たかね第十二号より)
大自然の御教えに生かされて

小野田支部 松岡文子

三十幾年前石鎚大神様をお迎え致しまし
た時、大神様の境内地になることだから、
御神域の尊厳を保たんとお思い数々の
小さな木々を植え、一日も早く大きくなつ
て、立派な森にならんことを念じ、猛暑の
中にて今にも枯れんとする木々に、一日の
お斉度に疲れ切った体にむちうち、幾杯も
幾杯も、水を根にやつては「枯れないで大
きくなってね」と念じつつやり続けた幾年
月、凍てつくような冬のさ中には根元に
ソツト切りワラや、枯葉、枯草等をよせて、
寒さに負けないようにと祈る心持ちにて
木々の大きくなることを楽しみに幾年月が
過ぎゆき、三十幾年が経ちて見れば、小さ
かった木が太く、逞しく、繋り合い、青空に
そびえ立ち、見上げる程の大きな大きな木
となり、大神様の御神域と尊厳を保ち、遠
くから眺めてよし、近くによりてよし、小
鳥の楽天地となり、赤き実のなる木、山桜、
吉野桜、八重桜、乙女椿、ボケ、金木犀、レ
ンゲ草、すみれ、水仙、四季四節の花々が
絶えず咲き、町の一角のオアシスとなり、こ
こだけは公害もなく、のびのびと遊び戯れ

る子供たちの笑い声の声々が響きわたり、
本当に極楽浄土の状と思ひ、過ぎ来りし
日々の苦しさも忘れ、アゝ良かった、本当に
人々の憩い場、心静まり、安まる処になり
嬉しさをじつと噛みしめつつ、フト見れ
ば繋り合いし木の枝々が傷つき枯れゆく状
にあわてて早速に庭師を入れました。それ
までは木を大きくしたい心にて木を少しも
剪定しませんでした。剪定をしていただくと
一本一本の木が見事に生き返り、形もよ
くなり、枝葉も痛まずスクスクとのびてい
る状にハット！胸打たれ教えられしこと
は、この木と同じく人間誰しも、俺が俺が
と己れを主張し、我を通し、のさばりかえ
れば己れも人をも傷つき、この木の枝の如
く繋ることをも出来ず、のびゆくことも出
来ず傷つき枯れゆくことだ、自分が一步控
え、お互いに譲り合い、施し合い、感謝し合
い、奉仕の心を捧げ合つて、助け合つてゆ
けば世の中はもつと明るく、幸福になつて
ゆくのではないかしら、お互いの家の内も
それだと深く自然の姿の中から教えられ尊
く生きてゆく道しるべの一つを有難く戴く。

石鎚神社 七五三詣

本年、七五三を迎えられるご家族ご親族の皆様、誠におめでとうございます。

お子様のつつがない成長は、ご家族の何よりの喜びです。

神様のお守り、ご家族・ご先祖様のあたたかなお守りをいただき、健やかな成長をお願いしましょう。

祈祷受付終了後、殿内での密集を避ける為に、ご案内に制限を設けております。



年 齢	数え年	満年齢
七歳の女兒 <small>おびとき 帯解のお祝い</small>	平成28年	平成27年
五歳の男児 <small>はかまぎ 袴着のお祝い</small>	平成30年	平成29年
三歳の男・女 <small>かみおき 髪置のお祝い</small>	令和2年	平成31年 令和元年

Q 今年の七五三は何年生まれですか？



Q 祈祷料は？

A 一件5千円から
兄弟姉妹は左記の通りです。

1人 5千円
2人 8千円
3人 1万円



Q 参拝日が雨の予報なのですが…

A 車で本殿までお越しくください。

Q ご祈祷はいつから可能ですか？

A 毎日受付しております。

毎月1日と15日は午前10時より月次祭の為、時間の制限がございます。日時が決まりましたら、電話にてご確認・ご相談ください。
【0897-55-4044】



頂上社 護持奉賛会へのお願い

皆さまのご奉賛を戴き、頂上社のご復興より、二十年が経過しました。皆さま、誠に有難うございます。厳しい自然環境の中に、頂上社を始め、迂回路等に、維持管理工事の必要性が現れて参りました。

今後もどうかお見守りくださいます様、ご理解、ご協力を、お願い申し上げます。

お問い合わせ・郵便受付

〒七九三―八五五五

愛媛県西条市西田甲七九七

石鎚神社 担当、岩本

TEL〇八九七―五五―四〇四四

口座 伊予銀行 小松支店

普通預金 一三九九三九三

宗団法人石鎚神社 宮司 武智正人

- ・頂上社ご復興奉賛会は「頂上社護持奉賛会」と改め、頂上社維持管理を目的とし、奉賛活動を継承して参ります。
- ・金十万元以上のご奉賛の方のご芳名は、年毎に本社境内の芳名石に刻名させて頂いて戴いております。

宮司管長、拝。



NPO
法人

石鎚森の学校活動報告

※石鎚山お山の案内人活動

【日時】 8月5日(金)

午前9時40分ロープウェイ登山
〜12時20分ロープウェイ下山

【場所】石鎚登山ロープウェイ
山下谷駅〜成就社境内〜昇殿参
拝〜下谷駅同行下山

【ご案内者】SBJapan・
マーケティングディレクター/
笹敷今日子氏、(株)ソラヤマいし
づち／常務執行役・明比卓志氏、
同スタッフ・計盛ひとみ氏、西
条市観光振興課観光産業創造係
長／徳増知司氏 計4人

【事務局参加】曾我部英司事務
局長、岩本昌美事務局スタッフ

今般、西条市長が社長を務め
る(株)ソラヤマいしづち様より、
お山案内のご依頼を頂きました。
お客様は台湾よりのツアー客を
日本国内へ誘致している「SBJ
Japan」担当氏。石鎚神社

成就社の昇殿参拝を含め、その
信仰や自然等々についてお伝え
するというのですが、全行程
昇殿参拝含め3時間。ゆっくり
している時間はなく・・・かと
いつて登山道を急いで登下山す
るのは御法度。ご案内の皆様は、
次の予定もあるので確実にロー
プウェイの希望下山時刻に合わ
せる必要があります。そしてその
目的はクライアントの方に石鎚
山の素晴らしさをしっかりと体
感していただくことにあります。



当日は、曇りがちで時々霧が
入り山頂や瀬戸内海の島々も望
めない状況でしたがご案内の間
いつも通りの笑いを取りながら
の曾我部事務局長のガイド振り
に終始和やかな雰囲気の中な
の信仰や自然をお伝えすること
ができたと思います。



天候が良い日にはその時の、
遠くの景色が見晴らせない霧や
曇りがちの日にはその時なり
のご案内方法があるものと再認
識した次第です。また、ご案内
中の登山道で今や「法螺貝を吹

く石鎚山の郵便屋さん」とし
て有名な山本さんと遭遇。急
遽昇殿参拝時に法螺貝吹鳴を
して頂けることになりました。
嬉しいサプライズが発生！

コロナ禍のため、事務局と
しても久し振りの「お山の案内
人」活動となりましたが、
私たち事務局にとっても楽し
い学びの時となりました。皆
さん〜お疲れ様でした。また、
石鎚山でお会いしましょう♪



※山の日「瓶ヶ森・親子登山／環境啓発登山」

【日時】 8月11日(木)

9時30分～15時

【場所】 瓶ヶ森

「男山コース」 1班～5班、

「氷見二千石原コース」

6班～10班

【主催】

愛媛県山岳・スポーツクライミング連盟、愛媛県、石鎚山クレーンアップ協議会、愛媛県石鎚山系エコツーリズム推進協議会

【後援】

公益財団法人日本山岳・スポーツクライミング協会、一般社団法人全国山の日協議会、愛媛県自然保護協議会

【参加者】 総計136名、

入船愛媛県環境局長、秋川愛媛県自然保護課長始め担当県職員計7名、指導員、看護スタッフ、講師として愛媛大学山岳会、始め関係団体スタッフ計31名、小学生及び同行保護者計98名

【事務局参加】

曾我部英司事務局長、岩本昌

美、黒河由佳両事務局スタッフ、藤原隆子、秋山一幸各サポートスタッフ



コロナ禍のなかではありますが無事に標記事業が開催されました。参加希望者も当初は150名を越えたため、時節柄抽選で100名に押さえての催行でした。石鎚山の学校スタッフもご参加の方の指導員、サポート役として9班、10班を担当させて頂きました。



瓶ヶ森では4年程前にも同事業を催行しています。行程中はマスクを付けたり外したり、高山とはいえ暑くもあつたので熱中症にも気を配りつつそれぞれコースを巡りました。道中は、植物や自然のガイドもしつつ、天候も雨に降られることなく事故なく終了しました。

ご参加の皆さんにはお伝えできませんでしたが、女山山頂で私たちが休憩していた足元に遠目にはキイロスズメバチにも似た？それは希少な「オオトラカミキリ」を発見！シツカリとその姿をカメラに収めることができました。



「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する国民の休日」山の日。素晴らしいご縁をいただきました。皆さん、お疲れ様でした！



文責 事務局局長 曾我部英司



頂上社

閉門祭のご案内

令和四年

十一月三日(文化の日)

午前十一時より

(時間に多少前後があります)

五月に開門祭を斎行し、夏山大祭を始め日々の神事を執り行いました令和四年。

年毎の例の隨に十一月三日、閉門祭を斎行致します。

頂上社では、閉門祭まで神職が常駐し、朝拝夕拝、御祈祷、授与品の授与をご奉仕しています。感染対策を万全に、ご登拝ください。

頂上山荘

宿泊 人数制限し営業していません。

十一月四日、午前八時頃閉店。

【お知らせ】

石鎚社報の購読料は年間六回発行で、五百円です。購読料未納の方は納付をお願いします。

新規申し込みの方、納付年数が不明な方、発送中止が希望の方は本社までご連絡下さい。
先達通信号(五月に送付)は先達会符所有者に贈呈させて頂いております。

石鎚神社 社報係 担当 高橋

石 鎚 社 報

〒七九三-八五五五

(発行所) 西条市西田甲七九七

石鎚神社・石鎚本教

【連絡先】電話(〇八九七)

五五-四〇四四 本社

五五-七二四二 FAX

五五-四一六八 会館

五五-七二八一 FAX

五九-〇一〇六 成就

五九-〇四〇八 FAX

五三-〇〇〇八 土小屋

【振替】〇二六八-〇一八三六〇

【発行代表者】武智 正人

【編集】大岡 忠徳

【印刷所】プリ・キユウ・プレス

【購読料】送料共 年五〇〇円

石鎚神社

で 検索